

情報活用単元デザインシート

学年・教科	2年 学級活動	単元（教材）名	友だち、先生クイズを作ろう
時数	4時間 (本時: 3時)	日時	令和2年11月4日(水) 第6時限(14:50-15:35)
場所・教室	2年1組 教室	授業者	篠木 萌
単元のねらい（目標）			
○個人情報が大切なものであると考え、正しく扱うことができる。 ○危険を回避し、情報を正しく安全に利用することができる。			

単元の評価基準

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 個人情報が大切なものであるということを知っている。 自分や相手の個人情報を正しく扱っている。 個人情報が流出する際の、危険性を知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報が大切なものであると考え、誤った取り扱いをしないように気をつけている。 自分で判断せずに、まわりの大人に相談しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分や相手の個人情報をむやみに開示せず、守ろうとしている。 正しい姿勢で情報機器を使用している。

指導にあたって

(1) 児童観

本学級の児童は、入学したときから様々な教科でICTを活用した授業に取り組んできた。1人1台使うことのできるタブレット端末では、1年生の頃から写真撮影や撮った写真を「発表ノート」に貼り付けるなどの操作を習得してきた。2年生になりパソコン教室で学習する機会もあり、マウス操作にも少しずつ慣れている。生活科で行った「町たんけん」では、施設の職員の方にどのようなあいさつが必要なのかを学級で話し合った。その際、インタビューをすること、写真を撮ることについて許可を取らないといけないのではないかという意見が出たため、インタビューをする際には「インタビューをしてもいいですか。」写真を撮影する際は「しゃしんをとってもいいですか。」という言葉をあいさつに追加した。当日も職員の方々に許可を取りながら、見学を進めることができた。

家庭でもほとんどの児童が1人でタブレット端末等の情報機器を使用する機会があり、動画配信アプリなどを楽しんでいるようである。各家庭で「友だち以外の相手とのメッセージのやり取りはしない。」「新しいアプリを無断で入れない。」といったルールが設けられている一方で、なぜそのようなルールが存在しているのかを答えることのできる児童はいなかつた。このことからタブレット端末やパソコンなどの情報機器は、児童にとってかなり身近なものである一方で、誤った使い方をした場合に生じる危険性についての意識は希薄に感じる。そのような中でみんなが楽しく安心して情報機器を使っていくために、必要なマナーやルールを子どもたち自身が気付くことができるようになり、情報モラルを身に付けていくようにしたい。

(2) 単元観

第1次では、児童の情報モラルを養うにあたって、個人情報について学習する。下校中に個人情報を聞き出そうとするハガキを児童が貰ったことを想定し、ハガキに書いてあることは本当のことか、書いてある通りに個人情報を開示して良いのかということを考えさせる。児童が力を入れて取り組んでいる算数科の「九九」をテーマにしたハガキを扱うことで興味関心を引き、意欲的に学習に取り組むことができるようとする。

ハガキの裏面に架空の住所を印刷し、学級にポストを設けることで現実により近い形で体験できるようとする。ここでは個人情報が誤った取り扱いをされ漏えい、損失するようなことが起こると、多くの人に迷惑や被害を及ぼす恐れがあるということをおさえ、個人情報は大切なものであるということを意識させたい。

第2次では、クラスの友だちと先生にインタビューを行い、そこで知り得た情報（個人情報）をもとに「友だち・先生クイズ」作りを行うという課題を与える。クイズを作り友だちとお互いに出題し合うということを始めに伝え、その目的のために相手の個人情報を集めるという意識を持たせる。その際に「じょうほうモラルチェックリスト」を学級全体で作り「インタビューの際に相手の同意を得ること」や「知り得た情報を使用する許可を得ること」など、児童自身が気をつけて取り組んだことを自己評価できるようとする。

(3) 指導観

第1次の児童が個人情報を開示するように求めるハガキを貰うことを見定した授業では、むやみに自分の個人情報を知らない人に開示してはいけないこと、誤った取り扱いをされ流出すると自分だけではなくまわりの人にも迷惑をかけることをおさえさせる。そのようなハガキを貰った際には自分一人で判断をすることなく、必ず保護者やまわりの大人に相談するという態度を身につけさせたい。

第2次で友だちや先生にインタビューをする際には、まずは普段から親しみのある友だちを相手にすることで、インタビューに慣れさせたい。その際に「じょうほうモラルチェックリスト」を児童のロールプレイをもとに学級全体で作ることで、自己評価できるようになる。「聞くとき」「作るとき」の項目に分けて作ることで、クイズを作るときにもチェックリストを意識できるようになる。インタビューをする際には、「個人情報を使用する許可を取る」「知り得た情報をどのように活用するのか伝える」という二点を、チェックリストで振り返りができるようになる。また、インタビューの内容は児童自身にも考えさせることで、興味を持って取り組めるようになる。「友だち・先生クイズ」を作った後、必要でなくなった相手の情報を削除するというところまでをチェックリストの項目に含み、最後まで相手の情報を大切に扱うということを意識させる。

指導の流れ（特別活動 4 時間）

次	時	学習活動	ICT 活用のポイント	指導上の留意点
1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハガキの内容について考え、交流する。 ・ 個人情報をハガキに書くか書かないかを考える。 ・ どのようなことが「個人情報」といえるのかを知る。 ・ 友だちと意見を交流し、個人情報を守るためににはどのようにすればいいかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ どのようなハガキが分かりやすくするために、大型モニタに映す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報は大切なものであり、守らないといけないものだということをおさえる。
2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報を扱うときに気を付けなければいけない内容を、ロールプレイをもとに学級全体で考えチェックリストを作る。 ・ 友だちにインタビューをする際の質問を考える。 ・ 友だちとお互いに「友だちクイズ」を作るため、インタビューを行う。 ・ 「発表ノート」で「友だちクイズ」を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インタビューした内容をまとめ、「発表ノート」で「友だちクイズ」を作ることで、交流活動が行いやすくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後で比較ができるように、名前、出身幼稚園、保育園、顔写真などを必須の質問とする。 ・ インタビュー後チェックリストを用いて振り返らせ、個人情報を正しく扱えたか確認させる。 ・ 自分だけでなく、相手の個人情報も大切にすることをおさえさせる。
	3 （本時）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報を扱うときに、気を付けなければいけない内容を学級全体で振り返る。 ・ 先生にインタビューをする際の質問を考える。 ・ 「先生クイズ」を作るため、インタビューを行う。 ・ 「発表ノート」で「先生クイズ」を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インタビューした内容をまとめ、「発表ノート」で「先生クイズ」を作ることで、交流活動が行いやすくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後で比較ができるように、名前、電話番号、顔写真などを必須の質問とする。 ・ インタビューをするときにチェックリストを振り返らせ、個人情報を正しく扱うようにさせる。 ・ 自分だけでなく、相手の個人情報も大切にすることをおさえさせる。

		<ul style="list-style-type: none"> 「先生クイズ」を仕上げる。 発表、交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> 作ったクイズを大型モニタに映し出し、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> クイズの発表、交流が終了した後の個人情報は削除させる。 個人情報を生活の中でこれからはどのように扱っていくのかをまとめさせる。
4				

本時の学習（第3時）

(1) 本時のICT活用について

授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> ペア学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習
ICT活用の場面	<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ
ICT活用者	<input checked="" type="checkbox"/> 指導者 <input checked="" type="checkbox"/> 児童 <input type="checkbox"/> その他（ ）
ICT活用の目的	<input checked="" type="checkbox"/> 資料の提示(指導者) <input checked="" type="checkbox"/> 資料の提示(学習者) <input type="checkbox"/> 自分の考えをまとめる <input type="checkbox"/> ペアの考え方をまとめる <input checked="" type="checkbox"/> 他者との考え方の比較・交流 <input type="checkbox"/> 学習内容を調べる <input checked="" type="checkbox"/> 自分の考え方を表現する <input type="checkbox"/> 学習の振り返り <input checked="" type="checkbox"/> 記録(写真・動画等) <input type="checkbox"/> プレゼンテーション等の作成
活用機器	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> 大型モニタ <input checked="" type="checkbox"/> 指導者用タブレット端末 <input checked="" type="checkbox"/> 児童用タブレット端末 <input type="checkbox"/> その他（ ）
活用コンテンツ等	<input type="checkbox"/> ○発表ノート
ICT活用のポイント	<input type="checkbox"/> ○インタビューした内容をまとめ、「発表ノート」で「先生クイズ」を作ることで、交流活動が行いやすくなる。(交流は次時)

(2) 目標

- 個人情報の扱いに気を付けて、インタビューをすることができる。

(3) 展開

学習活動	☆ICT活用のポイント ◇指導上の留意点	使用機器 コンテンツ	評価
○個人情報を扱うときに、気を付けなければならない内容を学級全体で振り返る。	◇ 「情報モラルチェックリスト」の（聞くとき）の項目である ①相手に許可を貰う。 ②「知り得た情報はクイズに使う。」ということを相手に伝える。 を振り返らせる。	タブレット端末 (児) 発表ノート	【知識・理解】 個人情報は大切なものであるということが分かり、守ろうと考えている。
めあて 先生クイズを作るために、先生のじょうほうをあつめよう。			

<p>○ 本時の学習課題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「先生クイズ」を作るためインタビューを行い、情報を集めることを知る。 <p>○ インタビューをする内容を、それぞれが考えて決める。</p> <p>○ 「先生クイズ」を作るため、インタビューを行う。</p> <p>○ 「発表ノート」で「先生クイズ」を作る。</p>	<p>◇ 名前や住所などが「個人情報」にあたり、守らなければならないものだということを思い起こさせる。</p> <p>◇ 自分だけでなく、相手の個人情報も大切にすることをおさえさせる。</p> <p>◇ 後で比較ができるように、名前、電話番号、顔写真などを必須の質問とし、その他を自由に考えさせる。</p> <p>◇ インタビューをするときに大切なことを意識させ、個人情報を正しく扱うようにさせる。</p> <p>☆ インタビューした内容をまとめ、「発表ノート」で「先生クイズ」を作ることで、交流活動が行いやすくなる。(交流は次時)</p>		<p>【思考力・判断力・表現力】 自分がクイズを作るにあたって、必要なインタビュー内容を考えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 チェックリストの内容を意識して、インタビューを行っている。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

板書計画

(めあて) 先生クイズを作るために、先生のじょうほうをあつめよう。

- ①「こじょうほう」をふりかえる。
- ②インタビューを考える。
- ③インタビューをする。
- ④「先生クイズ」を作る。

「じょうほうモラルチェックリスト」
(聞くとき)
 ①「クイズにつかいます。」と
 あい手につたえられた。
 ②あい手に きよかをもらえた。

こじょうほう = 大切なもの
 •名前 •じゅうしょ •でん話ばんごう
 •たん生日 •家ぞくの名前 など

(まとめ)

九九名人のみんなへ

名前()

○2年生のみんな 九九の学しゅうをがんばっているか?な?
九九名人のきみにプレゼントだよ!!

下のもんだいに答えてポストに入れよう。

ぜんもん正かいだったらすてきなプレゼントがビデくよ!

入れる

入れない

分からない

○そう考えたりゆうを書きましょう。

① $2 \times 3 =$

② $5 \times 1 =$

③ $2 \times 6 =$

④ $5 \times 2 =$

⑤ $2 \times 8 =$

⑥ $5 \times 4 =$

⑦ $2 \times 9 =$

⑧ $5 \times 5 =$

資料①「第1次 ハガキ」

名前()
じゅうしょ()
でん話ばんごう()
学校の名前()
自分のようちえん・ほいくえんの名前()

資料②「第1次 ワークシート」

じょうほうモラル 学しゅう ワークシート

名前()

○あなたが「九九名人のみんなへ」のハガキをもらったら
答えを書いてポストに入れますか。入れませんか。○を
つけましょう。

○今日の学しゅうで分かったことを書きましょう。

じょうほうモラル チェックリスト

名前（ ）

○自分が出来たことに、□にチェックを入れよう。

(聞くとき)

□ 「クイズにつかいます。」とあい手につたえられた。

□ あい手に きよかをもらえた。

(作るとき)

□ クイズいがいに じょうほうを つかっていない。

□ じょうほうを なくさないようにする。

□ つかいおわったら じょうほうをけした。

□ じょうほうを 教しつの外で 話していない。

(4) 授業を終えて

①成果

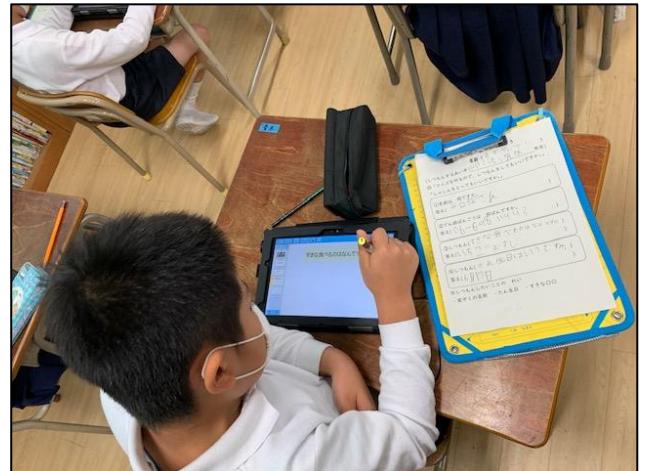
- 第一次で使用した「九九名人のみんなへ」のハガキの内容が、2年生が興味を持って学習に取り組むきっかけになった。
- 低学年のうちから個人情報の大切さを考えさせることができ、個人情報に対する意識を高められた。
- ゴールの課題に「友だち・先生クイズ」を作るということを設定することで、子どもたちが楽しんで意欲的に取り組むことができた。

②課題

- 本時のまとめにあたる部分が発表のみで終わってしまったので、ワークシートを活用してまとめさせたり、板書をしたりすることが必要だった。
- 「友だち・先生クイズ」を作ったときに、子どもたちの意識が文字の色を変えたり絵を加えたりすることに集中していたので、内容に目を向けさせる声かけが必要だった。



「先生クイズ」を作るためにインタビューをする様子



タブレット端末を活用して「先生クイズ」を作る様子